



SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Mar.2022

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

SDGsを実現する脱炭素社会に向け、我々経済界は「エコロジー・エネルギー・エコノミー」、いわゆる3Eを基軸に経営活動を進めている、否、いた。すでに過去形である。なぜならば、一方的な侵略戦争により、膨大なCO₂など温室効果ガスが排出されるに至ったからである。そこで提案であるが、国連は、戦争行為に排出権制限でもつけてはいかがであろうか。一定のCO₂以内での戦争とすれば良し。しかもほぼ戦争行為が無理なレベルを。まあ、ここでもソ連は拒否権発動でしょうが。

サンシングループ代表取締役社長
博士経営学 石井宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

ロシアがウクライナに侵攻して1ヶ月、世界で様々なニュースが報じられております。各国の思惑はどうあれ、戦争の代償を払うのは常に一般市民であることを忘れてはいけません。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Protecting environment is everyone's responsibility, we need to work together. Get start by yourself first which may inspire others, then continue to encourage more people to do it together. (J.L.)

CSI

セブの季節は雨期と乾期があります。雨期は6月～10月・乾期は11月～5月になりますが、雨の日が多いと感じます。気温差が有りますので、風邪を引かないように気を付けております。(K.S.)

SANSHINWest

マスクが海洋ゴミとして問題となっています。使い捨てマスクの多くはプラスチック素材で出来ているようで、自然に分解されるには数百年かかります。分別は可燃ゴミでいいようですが、使用後はきちんとごみ箱に捨てましょう。(Y.S.)

SHINKOWA

3月になり大分寒さが和らいできました。今年は、ここの名物「ヤチ埃」の発生がないです、春一番の風と共に今月後半あたりにきそうですが、畑に植え物があれば、それほど大きなヤチ埃は起きないでしょう。茶色い空は好きではありません。(M.N.)

SC2

【環境と行動】環境問題を「考え」たり「論じ」たりする人は増えました。しかし、環境保護とは「行動」です。オゾン層破壊を気にしてもゴミ拾いはしない。川や海を守りましょうと言う人が合成洗剤を使う。自分ひとりが何かしたって意味がない、ではなく、自分自身がその「小さな何かをしないこと」が、全体に影響しているのですね。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

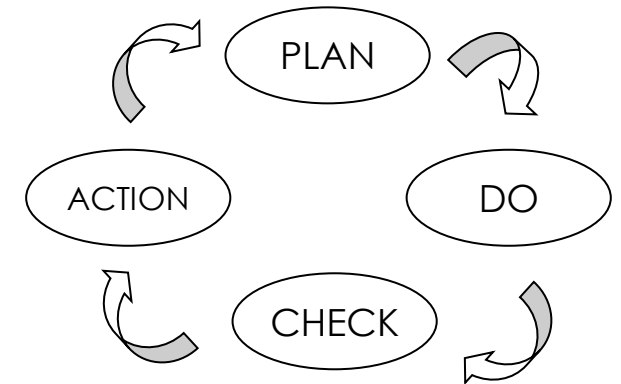
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



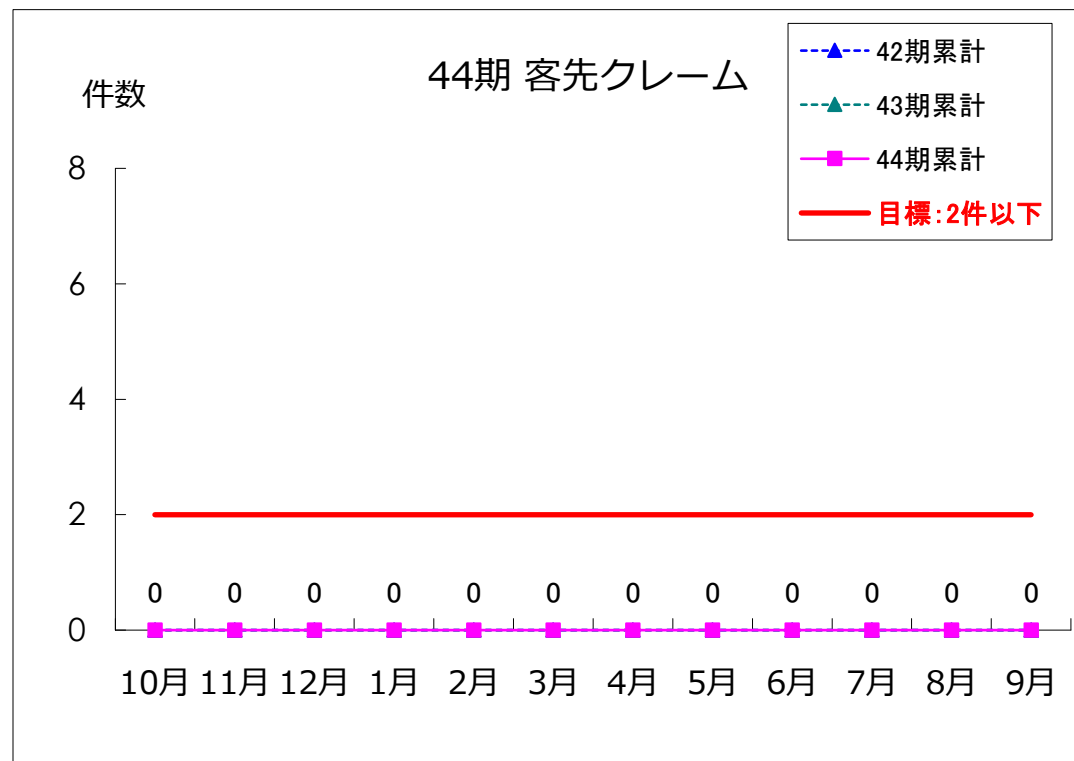
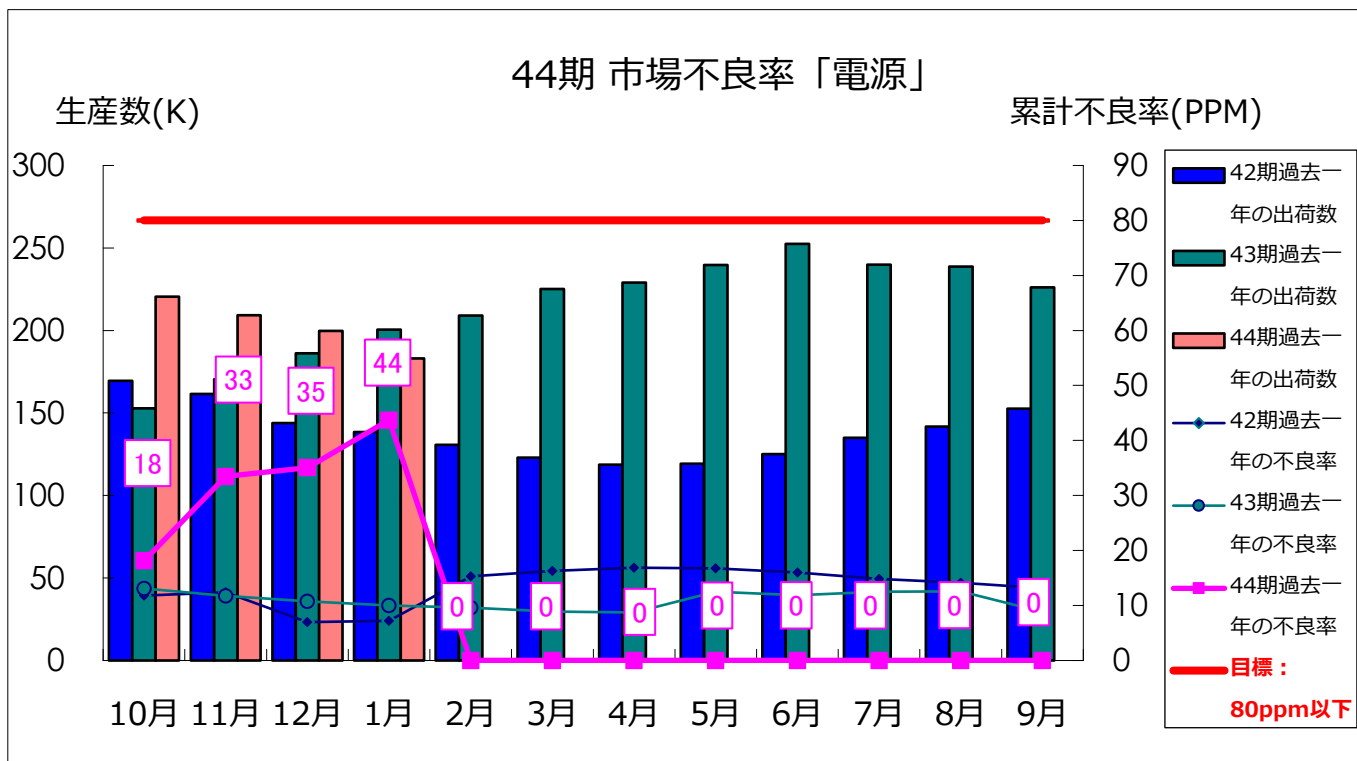
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

44期の累計不良率(解析含む)は、44ppm です。
 内部起因の市場不良累計(過去1年分) : 0件 、 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ ウクライナ軍事侵攻、真価問われるESG投資

2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領はウクライナへの軍事侵攻を決断しました。東部地域の親露派住民をウクライナ軍から保護するという名目の下に行った、現在に至る軍事侵攻の経緯は、毎日胸が痛くなる報道で世界の誰もが知る通りです。ウクライナへの軍事侵攻は、今後の企業と投資家のESGへの取り組みに、大きな影響を与えることとなります。

☑ 全ては化石燃料に起因する

なぜウクライナへの軍事侵攻がESG投資に大きな影響があるのでしょうか。端的に言えば、気候変動問題が、人権問題や人道問題と密接に結びついていることを改めて世界に知らせることになったからです。

3月1日、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第6次評価報告書の共著者であるウクライナ出身の気候学者スビトラーナ・クラコフスカ氏は、「人類によって引きこされた気候変動と、ウクライナにおける侵攻の原因は、同じルーツ、つまり化石燃料だ。そして、人類が化石燃料に依存することに起因している」と現地シェルターから発信しました。この理由はシンプルで、ロシアがウクライナへの軍事侵攻に使う費用の原資の一部は、同国が化石燃料を輸出することによって得られた収益によるものだからです。現在、ロシアの年間のGDPの約4割が石油・天然ガスを含む炭化水素資源によるものだといいます。これは、増加する異常気象の原因としてだけではなく、戦争を起こし、一般市民を負傷させるような化石燃料関連ビジネスに対して、これまでと同じ商習慣どおりでよいのか、という企業や金融機関への問いかけは、もはや気候変動問題は人道問題、人権問題と隣り合わせになりつつあることを意味しています。

今月のTOPICS

☑ ESGウォッシングという批判

以下は、3月2日の元ウクライナ財務大臣ナタリヤ・ヤレスコ氏の英Financial Timesへの投稿です。

「21年11月のCOP26で企業取締役や幹部層と機関投資家との議論では、ESGは重要なトピックだったにもかかわらず、ロシアのウクライナ侵攻に関して、全てのCEOがESGポリシーに一貫した、勇気ある行動をとれているわけではない」

「企業の勇気あるESGポリシーとは、収益を損なわない時にだけ有効なのか？」

「（企業の）ステークホルダーは企業の見せかけだけのESGに徐々に疑問を呈し始めている。(中略)これをESGウォッシングと呼ばずに何と呼ぶのか」

投稿記事では、3月2日時点でウクライナ侵攻に反対を表明したアクションを取れていなかったと見られるグローバル企業に対しては、なぜ製品を製造、販売し続けるのか批判しています。

今月のTOPICS

☑ 決断を迫られるグローバル企業

すでに多くの企業が人道支援の表明を行い、さらに事業停止・事業撤退・投資撤退・輸出入停止といったかたちで、ロシアでの事業収益を断念する決定の公表が続いています。印象的なのは、住民の生活に直接的な影響がある決済分野の企業の判断です。VISA、マスターカード、アメックスといった世界カード大手に続き、日本のジェーシービーもロシア内におけるカード決済の停止を決めました。

現地の雇用や消費生活にも大きく影響する製造業や小売業でも徐々に事業停止を進める企業が増加しつつあります。当初は名指しで批判をされながらも営業を継続していたマクドナルド、スターバックス、コカ・コーラも3月9日について事業停止の判断を公表しました。

事業規模の面でみれば、もっとも影響が大きいのは資源分野です。国際石油資本の米エクソンモービルはロシアの石油開発事業「サハリン1」からの撤退、英シェルは石油ガス開発「サハリン2」から撤退し、ガスプロムとのプロジェクトからも撤退することを表明しました。英BPもロシアのエネルギー大手ロスネフチの株式を売却すると発表しています。以降も続々と企業の事業停止に関するアクションが毎日報道されています。

今月のTOPICS

☑ 今後のESG投資への影響

最後に、ESG投資を促進するPRI(責任投資原則)の動きです。3月2日、PRIはロシアのウクライナ侵攻に関する声明を出しました。強い懸念と非難を示すことに加え、PRI自らとその署名機関に対し、次の2つの側面に関する分析を進めているといたします。

•責任投資とESGのアウトカム側面における影響

(例：エネルギー転換、国連ビジネスと人権指導原則（UNGP）に基づくビジネスと人権、国際機関の機能)

1点目に関して、短期的に最も分かりやすい影響は、PRIからの除名（Delist）措置です。実際に3月7日付でロシアの金融VTBグループの資産運用会社、VTBキャピタル・アセット・マネジメントは、英財務省の経済制裁リストへの掲載を理由に、PRIから除名されました。もともとPRIでは、適切なESG投資の報告がない場合に改善勧告を行って、そのうえで除名を行っていたが、それを即発動する形となったものです。

2点目に関して、中長期的な視点で「ESGのアウトカム側面」についてです。これは、「ESG視点で良いと判断した結果の投資行動が、真に良い変化（アウトカム）を生み出しているのか、その真価を問うべきだ」という指摘であり、極端な例えをするなら、ESG側面で高評価だったロシアの国営企業に投資することは、独裁政治の資金源への貢献であり、ひいては非人道的な軍事侵攻といったアウトカムに至る、もちろんそうであってはならないという意図です。

投資する側はそのお金が何につながるのかをハッキリと認識する、そして投資される側は見せかけだけのESGウォッシングになるのを避ける必要があります。今回のウクライナへの軍事侵攻の事案を経て、気候変動問題が人権問題や人道問題と合わせて語られるようになったことで、ESG投資がより一層、アウトカムを意識したものへと変容していくこととなります。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③電力使用量

環境への取り組み

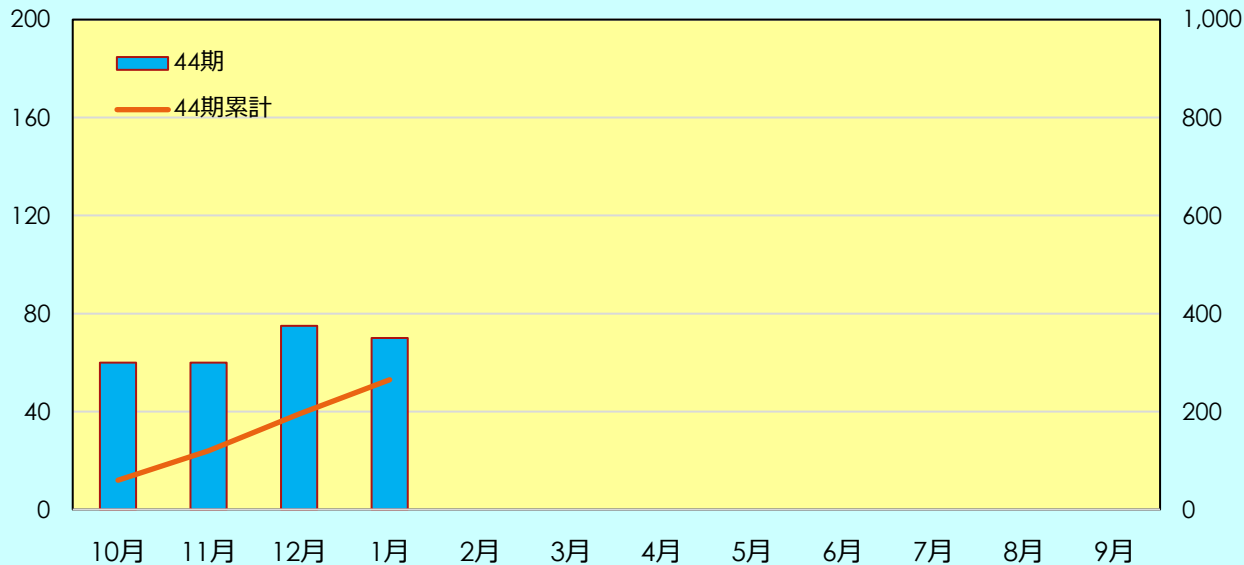
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

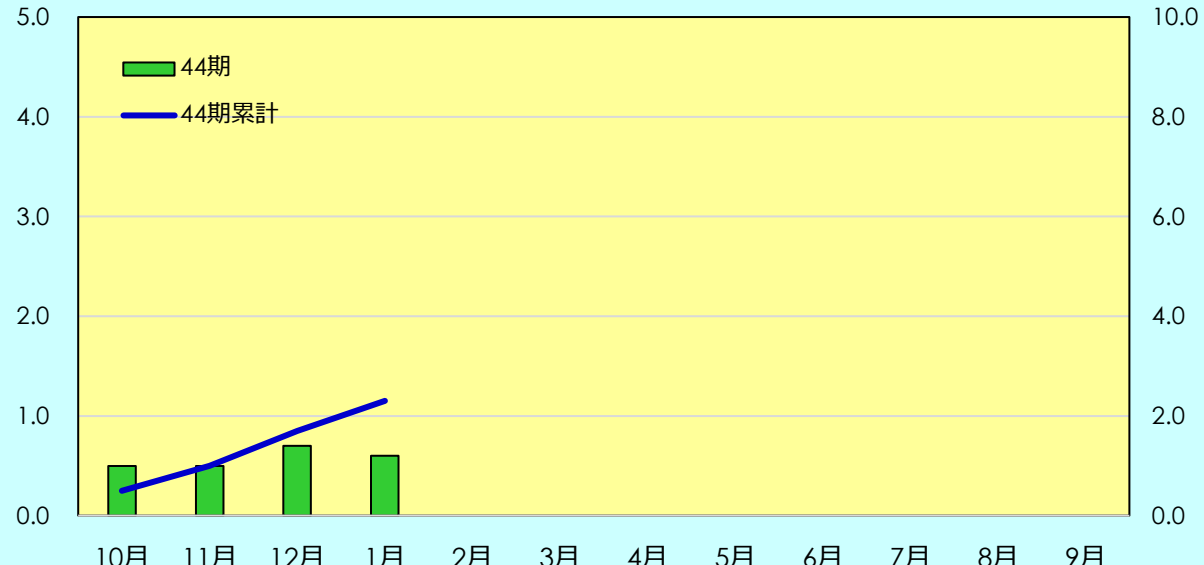
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(m)

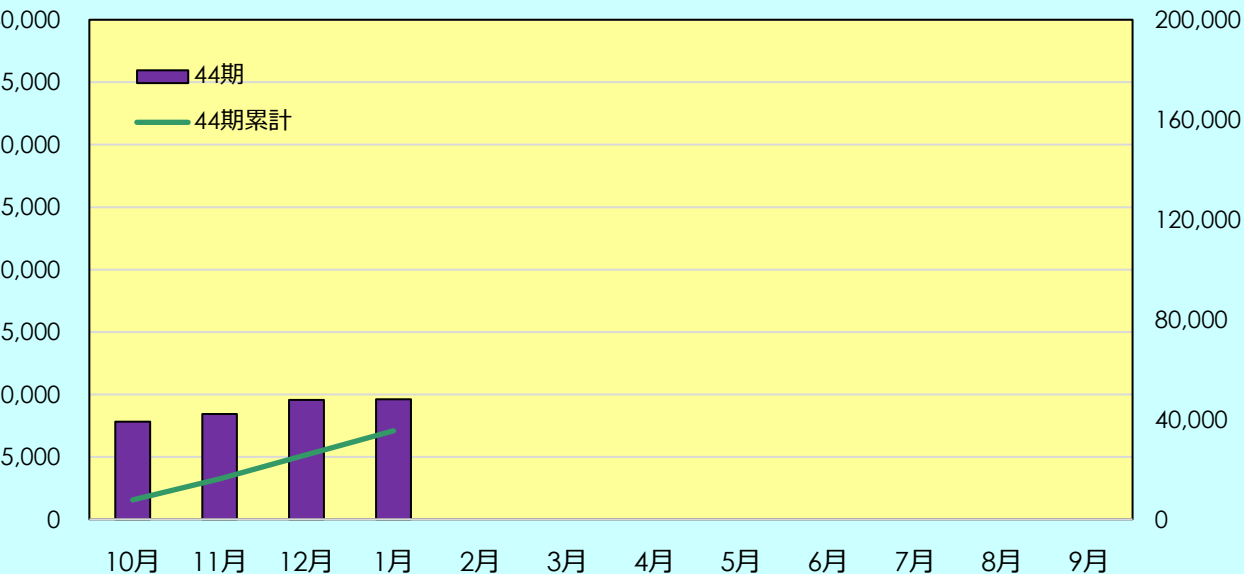
累計/折れ線(m)



廃棄物処理金額 (累計)

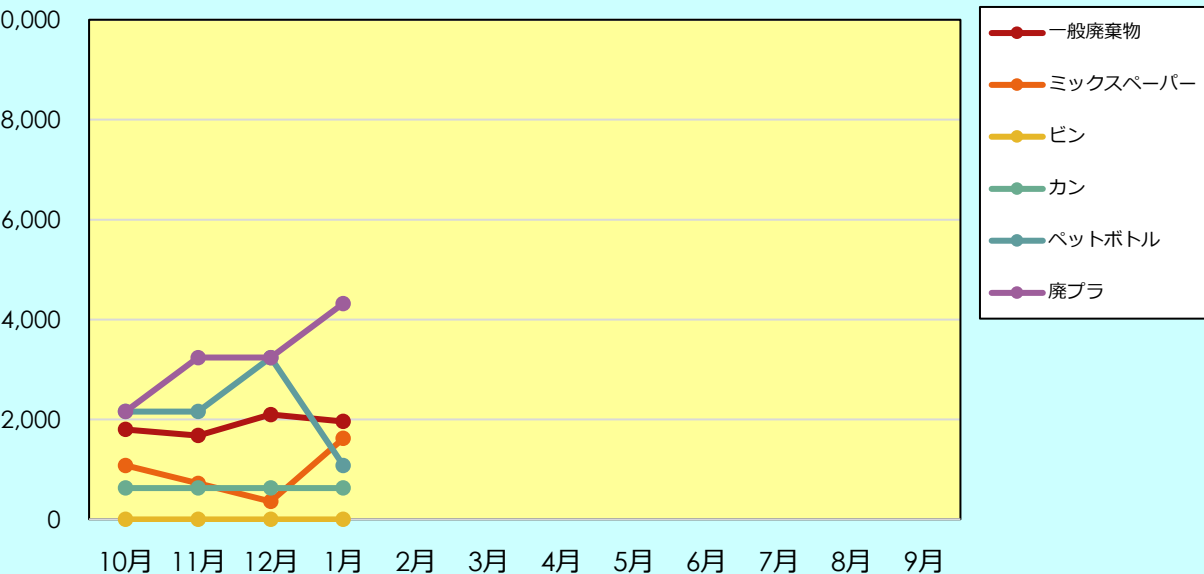
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



44期廃棄物処理金額

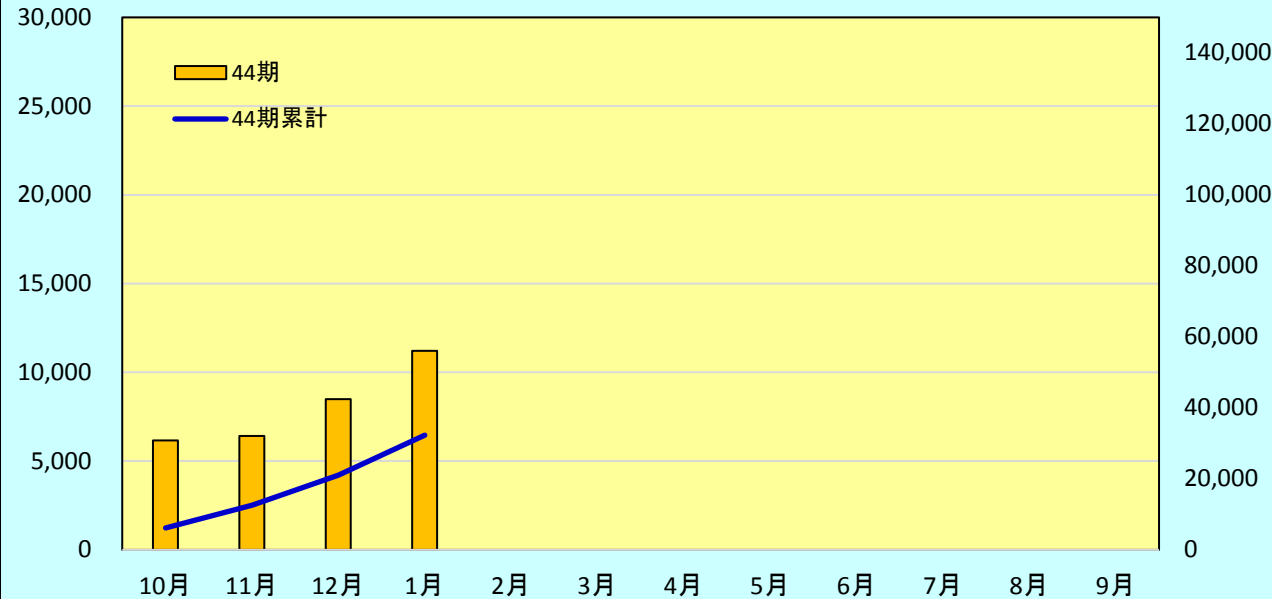
(円)



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

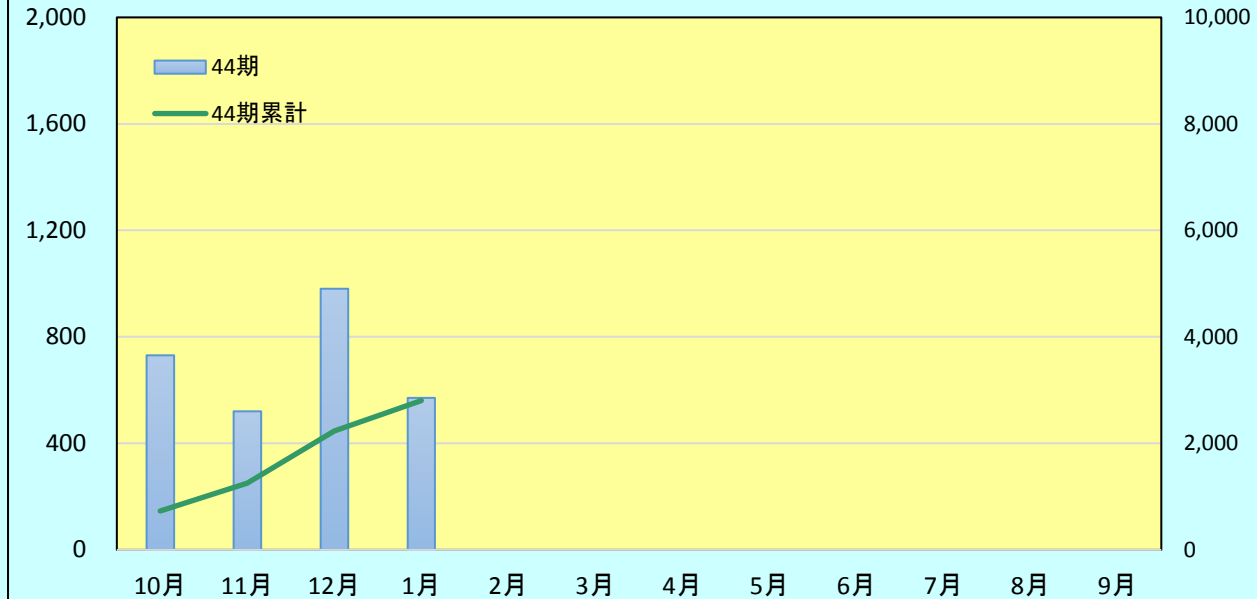
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

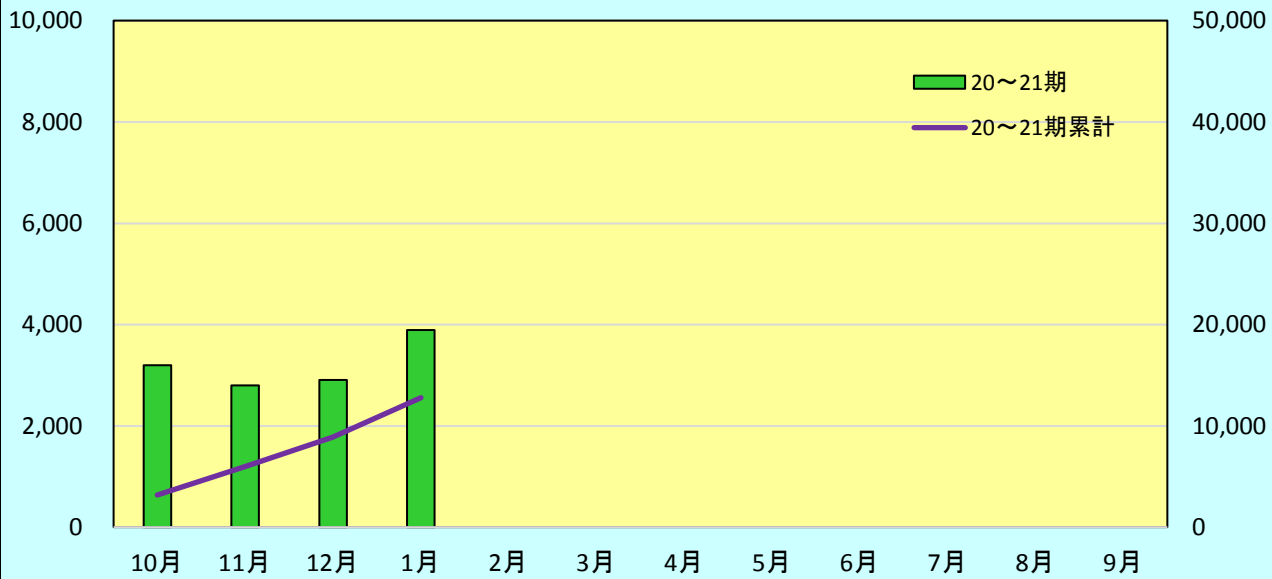
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

～サンシンググループの情報セキュリティ対策～

業務のICT化が進む中、テレワークの増加によって、情報セキュリティ対策の重要性は日に日に高まっています。サンシンググループではICTの積極的な活用と同時に情報セキュリティ対策にも力を入れています。

VPNやウイルス対策ソフトウェアの活用は勿論、サーバーデータの多拠点バックアップや定期点検等、人的災害だけでなく環境災害への対策も進めております。

また、情報セキュリティ対策は情報システム部門だけが対応すれば良いものではなく、従業員一人一人が正しく理解して行動すべきものです。

サンシンググループでは、情報システム部門が講師となって全社にセキュリティ研修を行ったり、定期的に情報を配信することで、従業員一人一人の知識・意識を高めています。

サンシンググループはこれからも、経営理念の達成に向けて

ICTを積極的に活用し、事業を進めてまいります。

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（2月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）

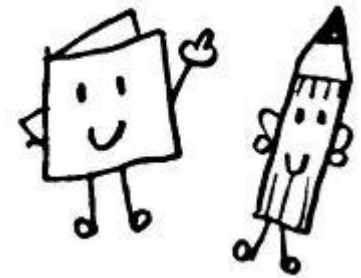


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2021年5月更新）⇒5年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2021年3月）⇒4回目の認定取得！
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



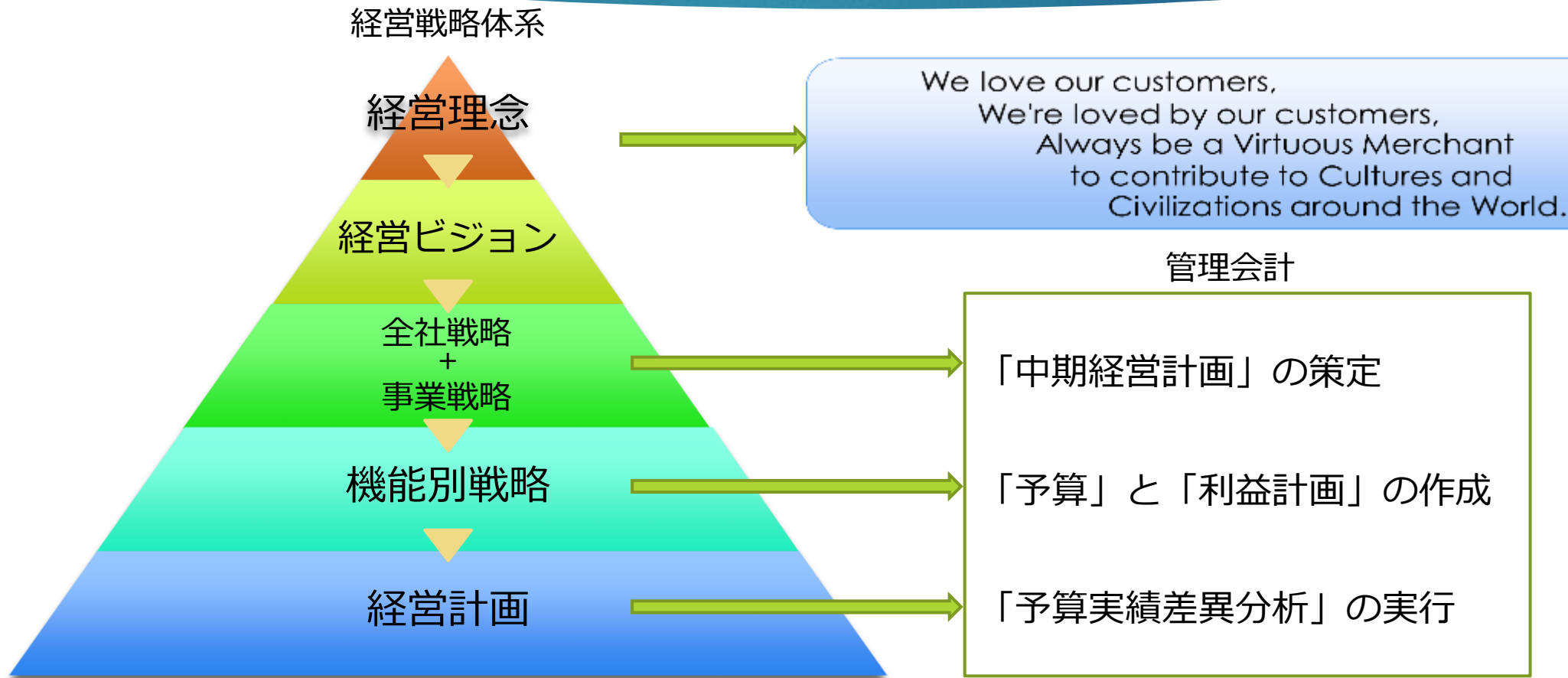
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

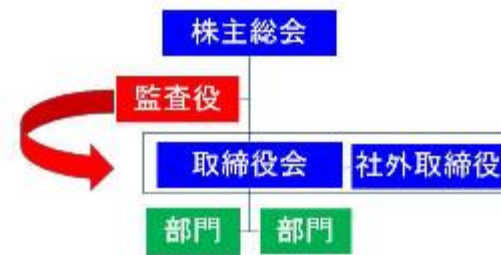
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

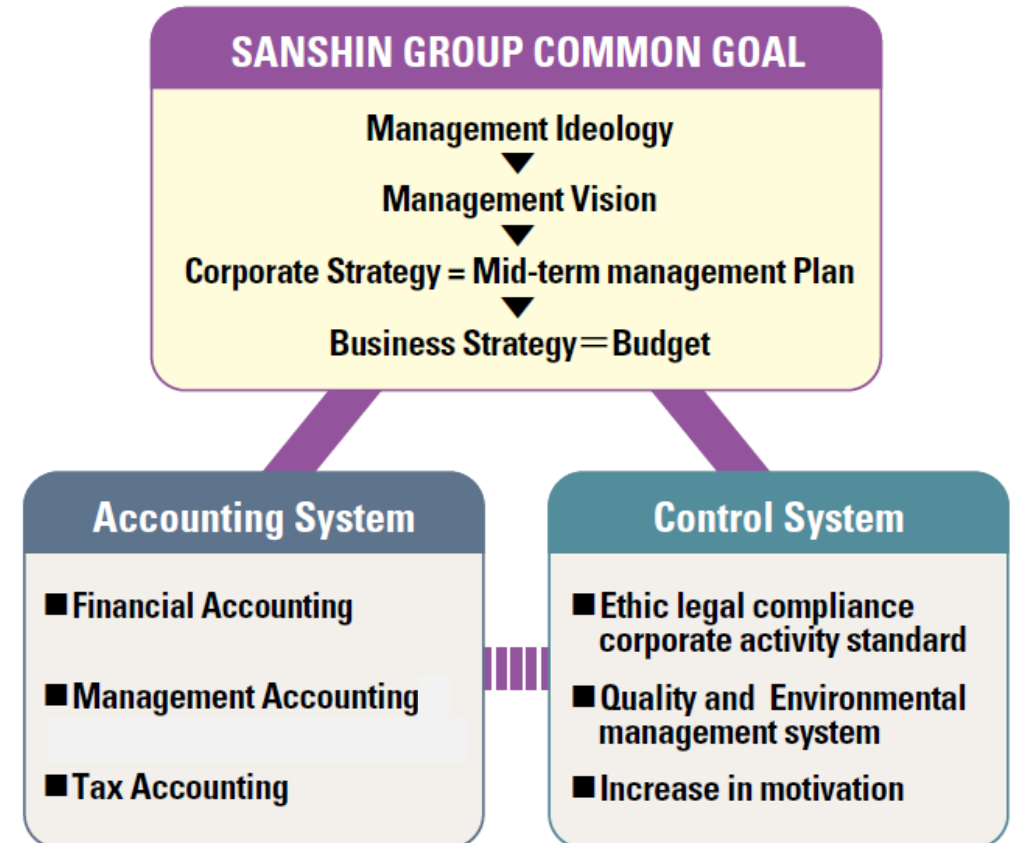
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

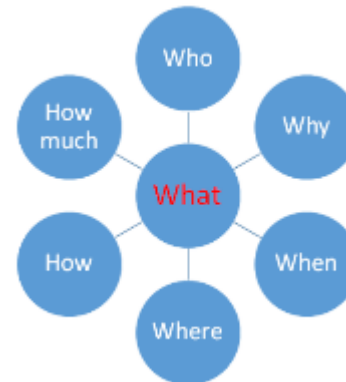
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

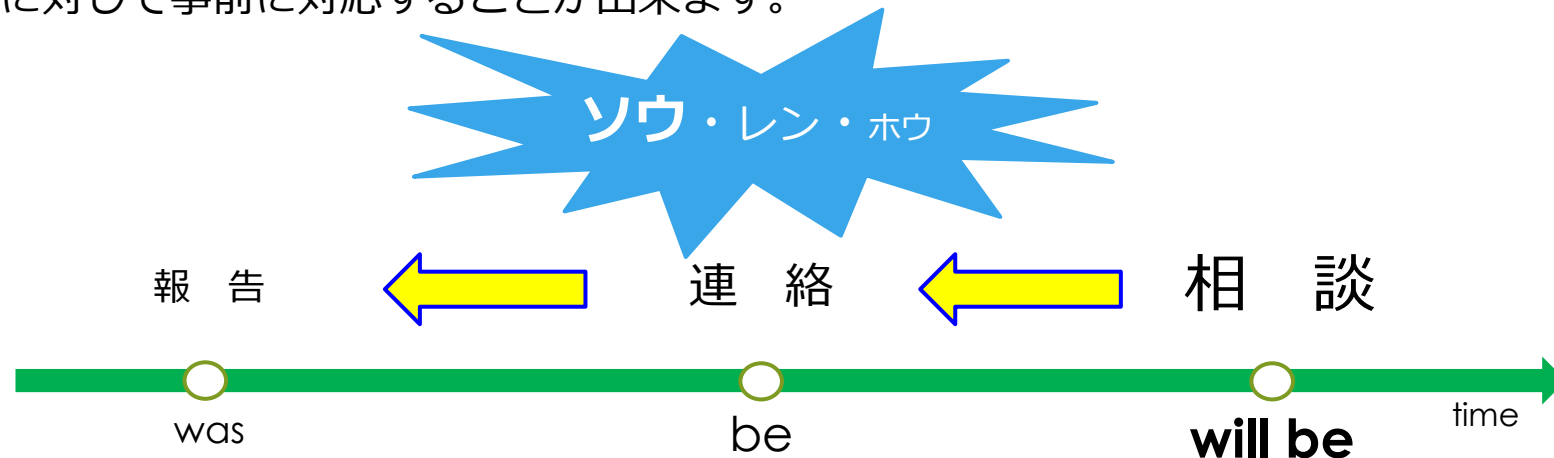


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

相変わらずのコロナ禍、さらにはロシアによるウクライナ侵攻等、地球規模で様々な問題が山積しています。技術の発達によりそれらの情報はリアルタイムに手に入り、今何が世界で起こっているのかすぐにわかるようになりました。それと同時に世界で起こっていることは決して他人事ではなく、ボーダレスが加速する世界で、国籍・人種問わず考えなくてはならない事だと感じます。